

# ともに育つ学校、ともに創る未来 —学びに笑顔を—

令和8年 3月13日(金)・14日(土)

会場：川崎医療福祉大学 〒701-0193 岡山県倉敷市松島288

参加費：3,000円

- ・非会員の方も参加可能です
- ・学生・大学院生は無料です（現職院生は有料です）
- ・公開シンポジウムのみ無料参加できます
- ・基調講演と公開シンポジウムはオンライン配信も行います

お申込みはこちら▼



後援：文部科学省・岡山県教育委員会・倉敷市教育委員会・津山市教育委員会  
岡山市教育委員会・山陽新聞社

## 大会1日目：令和8年3月13日(金)

＜開会式・基調講演・総会・表彰式＞

・開会式 (15:00～15:10)

・基調講演 (15:10～16:40)

講師：貞広 斎子 氏 千葉大学副学長・教育学部 教授

中央教育審議会副会長、同初等中等教育分科会会長、教育課程部会副座長等を務める。

演題：「しなやかな学校の未来像—次期学習指導要領と教育改革の方向性—」

・総会・表彰式 (16:40～17:10)



## 大会2日目：令和8年3月14日(土)

＜自由研究発表（プレゼンテーション・ポスター発表）・テーマセッション・公開シンポジウム＞

・自由研究発表 (9:00～12:20)

プレゼンテーション1 (9:00～10:30)

プレゼンテーション2 (10:50～12:20) ポスター発表 ※在席時間30分

# 大会2日目：令和8年3月14日(土)

＜自由研究発表（プレゼンテーション・ポスター発表）・テーマセッション・公開シンポジウム＞

## ・テーマセッション（13:15～14:45）

### ◆セッション1

「チーム担任制の導入による学校改善の可能性と課題」

### ◆セッション2

「特別支援学校におけるコミュニティ・スクール経営の実践とその在り方」

### ◆セッション3

「子どもの主体性と学びを支える—教育委員会と首長部局との連携・協働の視点から—」

### ◆セッション4

「子どもも大人も育つ学校経営—校長による学校経営実践から何が学べるか—」

## ・公開シンポジウム（15:00～17:00）

「子どもと教職員のウェルビーイングをいかに高めるか？  
～ともに育つ学校、ともに創る未来～」

### 【シンポジスト】

露口 健司 氏（学会会長 愛媛大学 教授）

片岡 一公 氏（岡山県高梁市立福地小学校 校長）

室 貴由輝 氏（岡山県教育庁 学校教育推進監）

大天 真由美 氏（岡山県高梁市立福地小学校 事務職員）

### 【コーディネーター】

諏訪 英広 氏（川崎医療福祉大学 教授）

### 【全体進行】

川上 はる江 氏（吉備国際大学（非常勤））

## ・閉会式（17:00～17:15）

## ・情報交換会（17:30～19:30）川崎医療福祉大学食堂にて

会費：4000円／社会人ではない学生・大学院生 2000円



倉敷観光コンベンションビューローからの助成金を受けるにあたり、ご宿泊者の皆様には倉敷市内のホテルに  
ご宿泊いただけますと幸いです。

## 日本学校改善学会2026 岡山・倉敷大会実行委員会

実行委員長 諏訪 英広（川崎医療福祉大学）

副実行委員長 三沢 良（岡山大学）

副実行委員長 富田 明徳（兵庫教育大学附属小学校）

事務局長 大天 真由美（高梁市立福地小学校）

事務局次長 宮崎 麻世（EduPorte株式会社）

委員 上岡 伸（岡山県教育庁）

大林 正史（鳴門教育大学）

小山内 仁（開星中学校・高等学校）

鎌田 雅史（就実大学）

川上 はる江（吉備国際大学（非常勤））

田中（眞弓）真秀（大阪教育大学）

中川 智之（川崎医療福祉大学）

野村 ゆかり（一般社団法人 もうひとつの大きな家族）

花井 麻理（豊中市立第八中学校）

山部 英之（矢掛町教育委員会）

湯藤 定宗（玉川大学）

## お問い合わせ



okayama.kurashiki.jsira2026@gmail.com

## JSIRA 2026 岡山・倉敷大会 各プログラム詳細

<b>基調講演 (オンライン配信あり)</b>	<b>しなやかな学校の未来像 — 次期学習指導要領と教育改革の方向性 —</b>
ご登壇者	概 要
<p>講師：貞広 斎子 氏  千葉大学副学長、教育学部教授、中央教育審議会副会長、同初等中等教育分科会会長、教育課程部会副座長、日本教育行政学会長等を務める。</p>	<p>現在、中央教育審議会は次期学習指導要領改訂をはじめとする我が国の教育改革の方向性について検討を進めているところです。そこで、教育行政・教育経営研究者として同審議会副会長を務めておられる貞広斎子先生(千葉大学副学長)を講師にお招きし、本大会のテーマ「ともに育つ学校、ともに創る未来—学びに笑顔—」に関連づけながら、次期学習指導要領と教育改革の方向性についてご講演いただきたいと思います。</p> <p>そして、「学校改善」について興味・関心を有する大会参加者がそれぞれの立場で、今後の子ども、学校、教育、社会のあり方を考える視点やヒントを得る機会になることを願っています。</p>
<b>テーマセッション1</b>	<b>チーム担任制による学校改善の可能性と課題 —岡山県津山市の公立小学校における実践から—</b>
ご登壇者	概 要
<p>司会：三沢 良 氏(岡山大学)  登壇者： ◇石原 智則 氏(津山市教育委員会学校教育課課長) ◇「チーム高野小学校」 高岡 昌司 氏(津山市立高野小学校校長)・今石 愛実 氏(教諭／生徒指導主事)・平拓未 氏(教諭) ◇「チーム向陽小学校」 杉本 伸一 氏(津山市立向陽小学校校長)・妹尾 美由紀 氏(養護教諭) ◇鍵本 芳明 氏(岡山大学)</p>	<p>岡山県津山市では、2024年度より市内の全公立小学校で「学年(チーム)担任制」を導入し、学校規模や人員体制に応じた多様な運用モデルが形成されている。本セッションでは、規模の異なる2校の先進的な実践を報告いただき、導入のねらいと具体的な運用設計(分担、連携、情報共有の仕組み)を共有する。そのうえで、教員の働き方改革や複数の目による児童理解の深化、学級経営上の見立ての共有といった成果を確認するとともに、情報共有に要する時間的コスト、役割分担と責任の所在、意思決定の難しさなど協働形成上の課題を検討する。あわせて、各校の運用を管理職の視点に加え、日常の教育活動を担う複数の立場から捉え直し、授業づくり、学年運営、児童支援の接続のあり方を具体的に描き出す。行政的な制度設計の視点も交え、学校改善へつなげる条件と持続可能な学校組織の在り方を議論したい。</p>
<b>テーマセッション2</b>	<b>特別支援学校におけるコミュニティ・スクール経営のあり方</b>
ご登壇者	概 要
<p>司会：大林 正史 氏(鳴門教育大学)  登壇者： ◇吉田 義則 氏(岡山県西備支援学校校長) ◇金島 一顕 氏(岡山県立倉敷まきび支援学校校長) ◇田中 稔 氏(岡山県立誕生寺支援学校副校長)</p>	<p>特別支援学校にとって、地域との連携は、地域住民の障害者理解の促進や、卒業生の進路先の拡大・確保などの点で、重要だと考えられる。また、特別支援学校の児童生徒による地域での課題解決は、児童生徒が学校で学習した成果を生かして、さらに知識や技能を深め、自己肯定感を高め、地域で生きていく力を高める可能性があると考える。そのため、特別支援学校では、そうした地域とのネットワークの形成を可能にするコミュニティ・スクールを活用した学校経営は、重要な経営課題になりうる。</p> <p>そこで、本テーマセッションでは、岡山県内の特別支援学校でコミュニティ・スクールの経営に尽力されている3名の学校管理職に、その経営の実践やその成果と課題を中心にご発表いただく。その上で、フロアの方々からの質疑応答を通して、特別支援学校におけるコミュニティ・スクールの経営のあり方について、認識を深めていきたい。</p>

テーマセッション3	子どもの主体性と学びを支える —教育委員会と首長部局との連携・協働の視点から—
ご登壇者	概要
司会：野村 ゆかり 氏（一般社団法人もうひとつの大きな家族）  登壇者： ◇馬場 敦久 氏（高知市首長部局：高知市社会福祉協議会ボランティアセンター長） ◇西 峻利 氏（高知市教育委員会学校教育課地域担当指導主事） ◇木村 大作 氏（高知市教育委員会学校教育課管理指導主事） ◇谷 達也 氏（高知市地域コミュニティ推進課課長）	コミュニティ・スクールに生涯学習・社会教育の視点を生かしていくためには、2021年に高知市に新設された地域共生社会推進課を中心とした首長部局間と教育委員会との積極的な連携・協働が鍵だと考える。そんな中、2022年度から、首長部局間で地域課題解決のために連携・協働する防災福祉部会に学校教育課地域担当指導主事も参加するようになり、社会教育人材のネットワーク化も図られ、好事例生まれるようになってきた。 本セッションでは、学校と地域と行政とが好循環した好事例を紹介しつつ、子どもの主体性と学びを支える施策や部局間連携・協働の在り方について議論する。
テーマセッション4	子どもも大人も育つ学校経営 一校長による学校経営実践から何が学べるか—
ご登壇者	概要
司会：湯藤 定宗 氏（玉川大学）  登壇者： ◇小山内 仁 氏（開星中学校・高等学校 校長・元公立学校校長）	登壇者の小山内仁氏は、北海道で教員を35年（うち教頭7年、校長5年）勤務した後に、2023年度から島根県の開星中学校・高等学校の校長に着任している。公立学校長時代には、学校改革の推進や人材育成、教育委員会・地域との連携を通じて、学校組織全体の力を高めてきた実践的な学校経営に関する豊富な経験を有している。また現在の勤務校においても私立学校長として数々の改革を実行し、入学者増など着実に成果をあげると同時に、若手教員育成にも力を注いでいる。 そこで、公立・私立校長による学校経営実践から学び、ワークショップ形式によりフロアとの意見交換も行いつつ、子どもも大人も育つ学校経営について共に考える。
公開シンポジウム (オンライン配信あり・無料公開)	子どもと教職員のウェルビーイングをいかに高めるか？ —ともに育つ学校、ともに創る未来—
ご登壇者	概要
【シンポジスト】 ◇露口 健司 氏(学会会長 愛媛大学 教授) ◇室 貴由輝 氏(岡山県教育庁 学校教育推進監) ◇片岡 一公 氏(岡山県高梁市立福地小学校 校長) ◇大天 真由美 氏(岡山県高梁市立福地小学校 事務職員)  【コーディネーター】 ◇諏訪 英広 氏(川崎医療福祉大学 教授) 【全体進行】 ◇川上 はる江 氏(吉備国際大学教授(非常勤))	国の第4期教育振興基本計画では、2つのコンセプト「持続可能な社会の創り手の育成」「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が示され、学校教育においては、教育活動全体を通じた子どものウェルビーイング、さらには、教師をはじめとする学校全体や社会全体のウェルビーイングの向上が目指されています。 そこで、本シンポジウムでは、大学研究者、教育委員会及び学校の立場からテーマに関する報告・提案等をいただき、特に、子どもと教職員のウェルビーイングを高めるための視点や方策等についてフロアも交えてディスカッションしたいと思います。

## JSIRA 2026 岡山・倉敷大会 自由研究発表（プレゼンテーション・ポスター）プログラム

### Session 1 9:00-10:30

A	ICT・AI		
	<b>S1A1</b>	清水憲志・大道香織・渡邊真帆・李睿苗・田島美帆・岸本有紀子・石川徹・玉城美千子・周偉傑・ニフュウス美冬・下川功喜・宮島衣瑛・中坪史典	広島大学大学院博士課程後期・中国短期大学・広島大学大学院博士課程後期・福山市立大学・広島大学大学院博士課程後期・広島大学大学院博士課程後期・広島大学大学院博士課程後期・広島大学大学院博士課程後期・高崎健康福祉大学・広島大学大学院博士課程後期・あおぞら幼稚園・広島大学大学院博士課程後期・スマートエデュケーション・スマートエデュケーション・広島大学大学院・広島大学大学院
	<b>S1A2</b>	佐藤栄治・空野剛	愛媛県立伊予高等学校 生成AIを用いた探究活動支援の研究 —活動の振り返りを通して—
	<b>S1A3</b>	川崎連也・大西義浩・渡部ゆかり	愛媛大学 AIを活用した設計図の事前評価とラーニングログフィードバックによる中学校技術・家庭科技術分野の学習支援
	<b>S1A4</b>	小川実姫・玉井淳博・大西義浩・渡部ゆかり	愛媛大学大学院・愛媛大学教育学部附属小学校・愛媛大学・愛媛大学大学院 小学校防災教育における発話データのAI自動分析による学習状況の把握
B	ウェルビーイング		
	<b>S1B1</b>	武田多聞・鈴木佳樹	愛知教育大学教職大学院 教員のウェルビーイング低下要因に関する一考察 —クオーターライフクライシスに着目して—
	<b>S1B2</b>	嶋田雄一郎	愛媛大学教職大学院 ウェルビーイングな学校モデルの構築 —教師・子ども・保護者・地域、みんなでつくる持続可能な学校づくり—
	<b>S1B3</b>	露口健司	愛媛大学大学院 教員ウェルビーイングに対する外部人材配置のインパクト
	<b>S1B4</b>	清水建吾	東温市立川内中学校（愛媛大学教職大学院修了生） 『対話』と『協働』による不登校支援の推進 —チーム学校推進主任による教職員のウェルビーイングの向上と不登校支援体制の構築を通して—
C	学校・家庭・地域の連携		
	<b>S1C1</b>	大田誠・小西哲也	山陽小野田市立埴生小中一貫校・下関市立大学 学校課題・地域課題と向き合うコミュニティ・スクール経営
	<b>S1C2</b>	田中智恵・倉本哲男・伊藤大輔・磯部征尊	愛知教育大学教職大学院(院生)・静岡文化芸術大学・秋田県立大学・愛知教育大学 学校と地域の持続可能な関係構築に関する教育実践研究
	<b>S1C3</b>	園部喬	岐阜大学大学院教育学研究科 地域の力を活かした教育活動支援の新しい仕組みづくり —地域学校コーディネーターとの協働による支援体制構築の実践報告—
	<b>S1C4</b>	荻野亮吾	日本女子大学 人口減少社会における地域学校協働活動の課題 —大分県佐伯市の協育ネットワーク構築推進事業の経年変化に着目して—
D	学校経営・財務・事務		
	<b>S1D1</b>	白川正樹・眞田弘和	順天堂大学 学校第三者評価の全国的推進に向けた課題と可能性 —教育委員会と学校への意識実態調査から—
	<b>S1D2</b>	前澤佳明	上越教育大学大学院（院生） 教員の重過失についての検討 —プール溢水事例の個人賠償責任の議論から—
	<b>S1D3</b>	星野圭子	足利市立毛野中学校 社会教育を支える学校事務職員の在り方
	<b>S1D4</b>	松野千恵美	新潟市立巻北小学校 学校財務を切り口とした学校マネジメントの活性化

E	学校組織の形態		
	<b>S1E1</b> 浅野知里・森弘徳	愛知教育大学教職大学院・愛知教育大学	中学校における同僚性を育む教員間の連携に関する研究
	<b>S1E2</b> 西村万里子	滋賀県長浜市立北中学校	働きがいとチーム力の向上 —教頭・教諭の視点から—
	<b>S1E3</b> 上岡伸・三沢良	兵庫教育大学大学院連合学校教育研究科・岡山大学学術研究院教育学域	教員の職場学習における社会的調整方略とグループウェア活用 —多職種連携を前提とした学習行動の検討—
	<b>S1E4</b> 室田美佳	兵庫教育大学大学院	教職員の集団づくりをベースにした学校経営への参画に関する研究 —教職員の意識改革を促す校内研修に着目して—
F	学校の在り方・教育的理念		
	<b>S1F1</b> 池田祐加・伊住継行	岡山大学教職大学院生・岡山大学	学校統廃合前後における児童の学校適応感の縦断的变化に関する研究：学校規模の違いに着目して
	<b>S1F2</b> 佐々木洋治	愛媛大学教職大学院	小規模高等学校における魅力化推進戦略
	<b>S1F3</b> 寺田峻之	愛知教育大学教職大学院	教師の省察を駆動する教育的鑑識眼と知識創造プロセスモデルの構築 —山吹セレクトタイム（Y S T）に見る教師の実践を通して—
	<b>S1F4</b> 小田大悟・鈴木佳樹・井上正英	愛知教育大学教職大学院	施設分離型小中一貫教育の未来を問う —立ち上げ期における教員の意識調査を通して—
G	教員のキャリア1		
	<b>S1G1</b> 各務修平・森弘徳	愛知教育大学教職大学院・愛知教育大学	学校におけるミドルリーダーのキャリア自律に関する研究
	<b>S1G2</b> 江角紀行・篠原大典	愛媛大学教育学部附属中学校・愛媛大学教職大学院	実習生と指導教員のウェルビーイングを高める教育実習とは？
	<b>S1G3</b> 太田有亮	愛知教育大学教職大学院	若手教員の経験学習サイクルを促す省察的フィードバックの在り方
	<b>S1G4</b> 工藤優介	西条市立河北中学校	教頭と主務教諭の協働による若年教職員のウェルビーイングの向上 —「主務教諭」の役割についての示唆—
H	教員のキャリア2		
	<b>S1H1</b> 山本咲衣・松山清美・井上正英	愛知教育大学教職大学院	女性教員のキャリア形成における育児と仕事の両立経験の価値 —育児効用感と力量形成の実感に着目して—
	<b>S1H2</b> 加藤大貴・森弘徳・井上正英	愛知教育大学教職大学院	ミドルリーダーによるZ世代教員の育成に関する—考察 —世代間の意識調査を通して—
	<b>S1H3</b> 大野裕己・本間厚子	兵庫教育大学・倉吉市立久米小学校	行政研修を通じた学校管理職の力量形成系統化の今日的課題 —教員育成指標に基づく研修計画の分析を中心に—
	<b>S1H4</b> 城戸茂・河野美千代・田坂文明・田中祐二	愛媛大学教職大学院・愛媛大学教職大学院・愛媛大学教職大学院・愛媛大学教職大学院	修了生追跡調査結果に見る愛媛大学教職大学院の成果と課題
I	授業づくり・実践・改善		
	<b>S1I1</b> 楠本亮	名古屋大学大学院発達科学研究科博士後期課程（熊本市立小学校教頭）	運動会改革における学校改善の「見えない壁」 —半日開催の維持と“振り戻し”をめぐる全国動向と一校事例の比較検討—
	<b>S1I1</b> 川本透大・玉井輝之・大西義浩・玉井修二・光宗宏司	愛媛大学・愛媛大学・愛媛大学・愛媛大学附属高等学校・愛媛大学附属高等学校	高等学校農業科におけるICTを活用した授業実践とその分析
	<b>S1I1</b> 石部正則	兵庫教育大学大学院	総合的な学習の時間における教師の地域資源の活用と支援方策 —小学校を事例にして—
	<b>S1I1</b> 松山清美・井上正英	愛知教育大学・愛知教育大学	教師の学習観の転換プロセスに関する—考察 —学習づくりのリーダーシップを志向した実践から—

## Session 2 10:50—12:20

A	校長・教員の職務		
A	S2A1	澤田知範・鈴木佳樹	愛知教育大学教職大学院・愛知教育大学
	S2A2	榎原康夫・神林寿幸	福島県田村市立船引小学校・明星大学
	S2A3	黒木大輔	宮崎大学教育学研究科
	S2A4	押田貴久	兵庫教育大学
B	校長による学校経営		
B	S2B1	三浦英生・鈴木佳樹・井上正英	愛知教育大学教職大学院
	S2B2	川原耕一	兵庫県立大学減災復興政策研究科
	S2B3	所浩子	堺市立黒山小学校
C	校内研修		
C	S2C1	久能彩香	福島大学大学院教職実践研究科
	S2C2	夏目郁馬	愛知教育大学教職大学院
	S2C3	小椋徹二	岐阜大学大学院教育学研究科
D	教師の授業づくり・地域連携・研修1		
D	S2D1	太田慧南	埼玉大学大学院教育学研究科
	S2D2	井原光明	今治市立大三島小学校
	S2D3	檜垣賢一・藤内大介	愛媛県総合教育センター企画開発室
E	教師の授業づくり・地域連携・研修2		
E	S2E1	河村陽介	岡山大学教育学研究科教育実践専攻
	S2E2	石川勝久	岐阜県立岐阜商業高等学校
	S2E3	大野正人	安芸太田町教育委員会
	S2E4	片山富子	世田谷区児童相談所
F	子どもへの教育1		
F	S2F1	佐藤貴宣	高知大学
	S2F2	永原恵人・久保田健心・真木大輔・大西義浩・田坂文明・白松賢	愛媛大学・愛媛大学附属中学校・愛媛大学附属中学校・愛媛大学・愛媛大学・愛媛大学
	S2F3	山田雄太・棚野勝文	岐阜県立岐阜北高等学校・岐阜大学
	S2F4	伊藤辰寛	愛知県半田市立青山中学校

G	子どもへの教育2		
S2G1 篠原大典・大西義浩・山本浅幸	篠原大典・大西義浩・山本浅幸	愛媛大学教職大学院	主観的幸福感と学力に関する因果構造の検証 —A市全小中学校の追跡調査データによる分析—
	岸太平	愛知教育大学教職大学院	教師の自尊感情は、児童の自尊感情を高めることができるか
	矢野晴基	八幡浜市立八幡浜中学校	学校再編後の子どもの主観的幸福感を導くためのアクション
	隅田浩式	愛媛大学教職大学院	不登校ゼロに向けて子どもの主観的幸福感と不登校傾向の関連性 —幸せの実態が不登校の予防・減少に及ぼす影響—
H	子どもへの心理的アプローチ1		
S2H1 坂本はな子	坂本はな子	国際基督教大学教養学部アーツ・サイエンス学科	親の精神的サポートを担うヤングケアラーの負担感と心理的自律への影響 —レジリエンスを媒介要因とした検討—
	高田清美・木村正男	下関市立大学・可児市教育委員会	教育相談コーディネーターの任命の在り方に焦点をあててチーム学校の在り方を再考する
	高橋美鈴	新居浜市立高津小学校	一人一人の子どもの「学校に行きたい」思いを大切にするサポートルームづくり
	砂田佳範	愛媛県立北条高等学校	多様な生徒に適したフレキシブルスクールの開発 —学校広報と学習支援システムづくりを中心に—
I	子どもへの心理的アプローチ2		
S2I1 川上はる江・小野秀明	川上はる江・小野秀明	吉備国際大学・矢掛町立矢掛中学校	学校現場における「働きやすさ」と「働きがい」を求めて —働き方改革のポイントを探る—
	松宮有里・倉本哲男・伊藤大輔・饒部征尊	愛知教育大学教職大学院	心理的安全性の向上に関する教育実践研究
	竹内元・橋口伽奈子	宮崎大学大学院教育学研究科・小林市立西小林小学校	働き方改革を視点としたカリキュラム・マネジメントと自学探究の実践
	二上雅史	愛媛大学教職大学院	中学校教員のワーク・エンゲイジメントを高める学校づくり — 校内研修の在り方と学び続ける教員集団の形成 —

## ポスター 9:00—12:20 (発表者の在席責任時間: 10:30—10:50+前後どちらか10分)

P1	原範幸・三沢良	岡山県公立学校スクールカウンセラー・岡山大学	発達支持的生徒指導におけるスクールカウンセラーの支援の実際 —学級改善の授業における直接的支援—
P2	鎌田雅史・三沢良	就実大学・岡山大学	教師集団の自律性と働き方改革に向けた学校改善の関係
P3	山田愛莉・三宅幹子	岡山大学大学院	体験活動が児童期の自尊感情と共同体感覚にもたらす効果 —兵庫県『自然学校』の事例から—
P4	路荷寧	神戸親和大学	中国の小学校における「教師の肯定的関わり尺度」(暫定版)作成の試み
P5	井田茉奈	国際基督教大学	学校保健による性感染症予防教育が性行為満足度に与える影響 —Safety Sex Awareness 尺度の開発による検討—
P6	三沢良	岡山大学学術研究院教育学域	保育現場におけるDX推進に対する組織的抵抗の要因分析
P7	松尾和代・三沢良	九州大学・岡山大学	チーム担任制のパターン類型化の試み
P8	宮崎麻世	EduPorte株式会社	地域の資源を学び化する校区連携型学習プラットフォームの開発と実践 —まちをまるごと学びのフィールドに変える『しゅくだいGO!』の取り組みを事例として—

## 【連絡・留意事項】

### ＜会場及び周辺マップ＞

・大学までのアクセスは、以下のリンクをご参照ください。

<https://w.kawasaki-m.ac.jp/data/access/>

・中庄駅から徒歩12~15分です。



### ＜駐車場＞

・13日(金)、14日(土)とも、第1駐車場は利用できません。

・13日(金)は、(大学横の)職員・学生駐車場は使用不可です。

川崎医科大学附属病院第2駐車場(7:00~20:00、1時間まで200円、以後30分毎に100円加算。1日(24時間)最大料金1200円)をご利用ください。

・14日(土)は、職員・学生駐車場(7:00~19:00、1時間100円)と川崎医科大学附属病院第2駐車場が使用可です。

・大学近隣にはコインパーキングはほとんどありません。

・近隣スーパー等への駐車は厳禁です。

[https://h.kawasaki-m.ac.jp/data/access\\_03/each/](https://h.kawasaki-m.ac.jp/data/access_03/each/)



# 2026年版カタログ発刊しました。



\* 当社調べ

学校向け通販  
品揃え No.1 \* 約 27,000 アイテム掲載！

学校の「欲しい」が、この1冊で揃います！

授業で必要な  
消耗品・備品も充実

先生向けカタログ発刊！

smartschool  
スマートスクール 26年カタログに掲載している  
理科・体育・特別支援・保健室用品を  
担当の先生が選びやすいように別冊にまとめました！



カタログ送付をご希望の方は、スマートスクール販売店またはお問い合わせセンター（TEL:0120-598-721）へお申し付けください。